

いながわ 特派員報告



北村 瞳



中道 かおり

事前登録で安心！ 病児・病後児保育



猪名川町の「い」と
生駒病院の「い」を
一文字ずつとって
「いっころム」



平成 28 年 7 月から生駒病院の協力を得て始まった「病児・病後児保育」。対象年齢のお子さんは誰でも登録できるってご存知ですか？今回は、事前登録で安心！その利用方法などをご紹介します。▶問合せ こども課（☎ 767 - 7477）

病児・病後児保育とは？

病気などが理由で、保育所などの集団生活が困難なお子さんを「いっころム」（生駒病院敷地内）で、一時的に預かってもらうことができます。

利用には事前登録が必要ですが、「町ホームページからの電子申請」か「こども課で申請書記入（印鑑・母子手帳持参）」するだけで登録完了です。

利用の対象となる子ども

- ★ 次 の 4 項目 すべて に 該当 する 子 ど も
- ★ 町 内 在 住 の 生 後 6 か 月 か ら 小 学 3 年 生 まで
- ★ 病 気 な ど の 回 復 に 至 っ て い な い、ま た は 回 復 期 で 集 団 保 育 が 受 け ら れ な い
- ★ 入 院 お よ び、点 滴 や 吸 入 な ど の 必 要 性 が な い と 診 断 さ れ て い る
- ★ 保 護 者 の 就 労・疾 病・冠 婚 葬 祭 な ど、社 会 的 な 理 由 に よ り 家 庭 で の 保 育 が 難 し い

対象となる病気やケガ

- ★ 風 邪 や 下 痢 な ど、子 ど も が 日 常 的 に か か る 病 気
- ★ インフルエンザなどの感染症
- ★ ぜんそくなどの慢性疾患
- ★ 骨折やけがなどの外傷性疾患

利用について

- ▼ ところ 医療法人社団 衿正会 生駒病院（広根九十九 8、☎ 766・0172）
- ▼ 定員 1 日 あた り 2 人
- ▼ 利用日 連続して土・日・祝を除く 7 日以内（混雑状況による）
- ▼ 利用時間 月・金曜日、午前 8 時～午後 6 時、土・日・祝・年末年始は休み（電話対応も同じ）
- ▼ 費用 利用料 1 回につき 2 千円（住民税非課税世帯は減免制度あり）、給食費 300 円（弁当持参可。アレルギーがある場合は、弁当持参。離乳食にも対応可。予約時に要確認）

利用までの流れ

- ① 仮予約：前日午後 6 時までに生駒病院へ電話し、空き状況を確認
- ② 医師連絡票の準備：かかりつけ医で作成してもらう
- ③ 本予約：再度、生駒病院に電話。医師連絡票の内容をもとに、利用可否の最終確認
- ④ 必要書類の準備：利用申込書・病状連絡票・与薬依頼書を記入
- ⑤ 当日：書類など、必要なものを持参し、予約時間までに来院



いっころム

利用の様子

「いっころム」では、看護師さんと保育士さんが、お世話をしてくれます。予約が無かったこの日は、元気がいいのみのみ君（3歳）に撮影の協力をしてもらいました。

見慣れないおもちゃや絵本を前に、すぐに楽しそうに遊び始めたみー君。少し元気のある子はボウリング、まだちょっとしんどい子には制作キットなど、お部屋の中には保育士さんの手作りおもちゃがたくさん！お昼寝の時は絵本も読んでもらえますよ。感染症のお子さんには、別室で過ごしてもらいなどの対策もきちん



とされていて安心です。お部屋やおもちゃなどは毎日きちんと消毒されています。お子さんが普段の生活と同じように過ごせるように、とても工夫されているなあ、と感じました。

ぜひ、事前登録を！

猪名川町の病児・病後児保育は「全国病児保育協議会」に加盟して、研究大会や研修などに参加し、看護師や保育士のスキルアップに努めています。小児科経験のある看護師が担当していますし、地域の小児科との連携もできていますので安心してご利用ください。

預けている最中に心配になったら、電話でお子さんの様子を確認して頂いても大丈夫。病気やけがをしないことが一番ですが、もしもの時の安心のために、ぜひ事前登録をしてください。



いっころム
（生駒病院敷地内）位置図

※事前登録、必要書類や持ち物など、詳しくは役場ホームページ参照

《編集後記》

対象の子どもがいながら、病児・病後児保育のことはほとんど知らなかった特派員。昨年登録しておけば、子どもがインフルエンザの回復期に仕事を休まずに済んだのかも…と、ちょっと後悔。対象のお子さんがいるご家庭は、この機会にぜひ事前登録をしてほしいと思います。

手作りおもちゃに大喜び！！

利用者の声

仕事をしていると、子どもが病気の時は職場に迷惑をかけながら休むしかなく、仕事を辞めようかと考えた時期もありました。病児保育ができてからは、何かあった時は利用できると思うと心強いです。熱があっしんどい子どもを預けるのは心配だけど、看護師さん保育士さんが手厚く見てくれるので安心感があります。共働きの家庭が増える中、病児保育があるおかげで、働き続けられるように応援してもらっていると感じています。

「またきてね！」…って
言えないのがつらいんです…





新名神高速道路川西～猪名川間を歩く、 一生に一度の体験！



▲ 10月14日、新名神高速道路川西ICで部分開通プレイベント「かわにしインターフェスタ」を開催し、約15,000人が参加。川西IC（スタート＆ゴール地点）から六石山トンネルを抜け、猪名川町広根地内（写真上左）までの往復約5kmのコースで「高速道路のウォーキング」を楽しみました。



ベビーカーのまま入室OK！

▼ 10月18日、文化体育館に「赤ちゃんの駅」を設置しました。利用者は、「人目を気にせずに授乳ができるし、お姉ちゃんが遊ぶスペースもあるので助かります！」と話しました。町内各所に設置している「赤ちゃんの駅」は現在35施設。→
子育てに優しいまちづくりは、さらに進んでいます。



みんなで楽しく頭の体操！

▼ 10月2日から日生住民センターで「脳の健康教室」がスタートしました。これは、公文式の教材を使った簡単な計算や読み書きのほか、体操やお茶タイムを通して、楽しくみんなで認知症を予防しようとするもので、3月まで毎週月曜日に開催します。



地域で見守る輪を広げよう！



▲ 10月12日、キャラバンメイトの「認知症サポーター」養成講座で、イオンモール猪名川の従業員を対象とした「認知症行方不明者発見・捜索訓練」が行われました。同店では定期的に講座を行うなかで、今回は初めて営業時間内に捜索訓練を実施。参加者は「知識として知っていることと実際に声をかけることは大きく違う。参加してよかったです。」と話しました。

▲ 9月23日、大島であい公園と松尾台うぐいす池公園に「健康遊具」を設置しました。楽しく健康づくりを意識し、体力作りの場として公園で体を動かしてください！



身近なところで健康増進！！

一人ひとりが心がけを！



▲ 9月21～30日の「秋の全国交通安全運動」期間中に、町内各地で啓発活動を行いました。秋から冬にかけては薄暮の時間が長くなり、事故が起こりやすくなります。自動車は早めのライト点灯、歩行者は明るい色の服装をするなど、より一層の交通安全を心がけましょう。

体育の日を満喫！！



▲ 10月9日、スポーツセンターで開催された「第22回いながわスポーツ祭」。屋外ではペタンクとグラウンドゴルフ、屋内ではスローイングビンゴと、273人の参加者は、それぞれに優勝を目指し仲間とともに楽しく汗を流しました。

▲ 10月9日、B&G海洋センターで開催した「アクアフェスティバル」。カヌー体験やアクアヨガなどのプログラムに多くの人々が参加しました。カヌーを体験した人は「腕は疲れたけど、自分で動かせるようになるのが楽しい！」と話しました。

テレビ電話でコミュニケーション

▶ 9月28日、来年度姉妹都市提携締結から30周年を迎えるオーストラリアバラット市のマッキントッシュ市長と福田町長がインターネットによるテレビ電話で初対談を行いました。これは、今後も長期にわたって両市町が良好な関係を継続することで、お互いの発展につながるよう協力していくことを話し合ったもので、今後も定期的にテレビ電話対談を行い、コミュニケーションを深めていくことを約束しました。



採れたての黒枝豆「ふわふわしてて、きもちい～！」



▲ 10月13日、松尾台と六瀬幼稚園が予定していた、大西農園での枝豆狩りが雨天中止になったため、急きょ、生産者の大西さんが枝豆をプレゼントにしてくださいました。「枝豆大好き！」という子どもたちも、枝になっている状態の枝豆を目にする機会は少なく「プリッと大きい黒枝豆」に大興奮。自分たちの手でたくさんもぎ取り、給食の時間にみんなで美味しくいただきました。また、大西さんは「農業を通じて地域の皆さんとの輪を感じられてうれしい」と話しました。

